

第1回 会津地区研修会

会津教育事務所

- 目的：地域で子ども読書活動を推進するボランティアの資質向上を図り、学校図書館の支援もできる人材を育成する。
- 日時：令和元年8月22日（木）10：50～16：00
- 場所：会津大学 中講義室
- 参加者：92名

分科会A 【読み聞かせボランティア】

ばんげ読み聞かせの会の取組 鶴見 美佐子 氏 日下 和子 氏 斉藤 節子 氏

○「読みきかせボランティア」25年のあゆみ 実践発表

○会の活動

今年度は高校での朝読を継続
大人のための読みきかせ
出席カードを活用した読みきかせ
全国お話キャラバン隊との連携等



○学校との連携について

会津農林高校生による読み聞かせ紹介(学童保育、介護施設・幼稚園・保育所での実践)
地域の伝統「早乙女踊り(扇の舞)」の復活(高校との連携)

○実演

語り「ハルとナツ」 大型絵本「にじいろのしまうま」 パネル絵本「ももたろう」

分科会B 【学校司書・図書館司書等】

ビブリオバトルとは 会津若松市立会津図書館 石井杏紗美 氏 田崎 彩夏 氏 五十嵐 功一 氏

1 ビブリオバトルの紹介



- ①ビブリオバトルとは
- ②ビブリオバトルの概要とルール
- ③会津図書館のビブリオバトル

2 ビブリオバトル実演(ミニビブリオバトル)



- 本を紹介する(3分)→質疑・応答(2分)
- 3人行って投票
- 今回の投票は挙手
(手軽に気負わずに楽しむことがコツ)

【 鑑賞・講話 】
福島テレビ 報道部 報道局 アナウンサー 菅家 ひかる 氏

「伝わる話し方・心をつかむ話し方」とは

- 言葉の重み・責任
- 伝える姿勢
- 発声練習「基本を押さえる」
「外郎売」の発声練習（研修者も参加）
- 言葉の温度
心+声のトーン、大きさ、話し方・聞き方
言葉遣い、ニュアンス、間、表情などの
コミュニケーションの総合力
- みんなでアナウンサー体験
音の高さを変えるだけで伝わる印象が変わる。
（伝えたい思いが変わる。）



伝え方の実演

【 講演・演習 】

「ブックトークの魅力」～子どもと本を繋ぐきっかけに

講師 JPIC読書アドバイザー 児玉 ひろ美 氏

- ◆ウォーミングアップ
言葉で伝えることの難しさ
絵がなくてもしっかりと相手に伝えることができる
スキルを習得する
- ◆子どもと本を繋ぐ
アニメーション（本の共有）
ブックトーク（自分で読む動機付け）
- ◆ブックトークの組み立て
本やテーマから 導入の展開の設定と工夫
原稿（シナリオ）・資料の準備
時間配分（タイムスケジュール）タイトルの工夫
本の調達（なるべく学校図書館にあるもの、身近なもの）
- ◆ブックトークの実演（対象：小学校6年生）
テーマ「みんながみんなすてきでしょ」



【参加者の声】

- 図書館のイベント本が人と人をつなげる上で、様々な工夫があって大変参考になりました。
- ビブリオバトルについて理解できました。読書離れが進む中、面白い取組だと思えます。楽しく広く、様々な要素を持つ方法だと感じました。
- 難しいブックトークを丁寧に大事な点をおさえて、子どもたちが興味を持つ工夫がちりばめられていました。テーマに導く手法を見せていただきました。すぐにはできませんが、勉強しながら実践してみたいです。
- 言葉の温度の話が心に残りました。実際に声を出してみても、声のトーンや発し方など勉強になりました。今後も意識して声を出して読み聞かせをしていきたいです。
- 講師の先生方の読み聞かせをする意欲と日々の練習……。たくさんの実践経験があっても、さらに努力を惜しまない姿に感動しました。これから頑張ろうと思いました。